



糸魚川支部 大和川教室 所属
Yumeka Shimozawa
下澤 夢嘉 (シモザワ ユメカ)

『すべての人に感謝』 下澤 夢嘉

私が空手を始めたのは、小学一年生の終わりでした。きっかけは、一つ年下の友達が空手をやっていて、すすめられたからです。私は最初、空手は楽しいという印象でした。でも帯が上がるにつれて空手の印象は、楽しいから厳しいや、辛いに変わっていきました。

しかし、稽古をしていく中であきらめそうになっても、あきらめずに頑張れることが増えていき、いつのまにかあきらめないでがんばる事ができるようになり、日々生活していく中でも役立つようになりました。このようなことができるようになったのも、先生方のおかげです。ありがとうございました。

また、空手を続けていき、いつのまにかできる事が多くなり、四年生の時に大会に出てみようと思いい、大会に向けての練習が続きました。そのおかげで大会では緊張しましたが、優勝することができよかったし、自分にも自信がきました。優勝したことが分かった時、家族や友達から「おめでとう」と、たくさん言ってもらい「おめでとう」と言われることがどれだけうれしい事なのかを知る事ができ、次は黒帯を取ってたくさんの「おめでとう」を聞けるようにがんばろうと思いました。そして、ついに黒帯の試験を受けることができ、緊張していた十人組手も終えることができました。二週間後ついに結果が分かり、黒帯の試験に受かった時、うれしい気持ちがありませんでした。これからは、先生方に教わったことを忘れずにしていきたいです。

これまで、分かりやすく指導してくださった先生方、応援してくださった家族、本当にありがとうございました。

これからは、中学校に行ってもできるかぎり空手に来て、空手をずっと続けていこうと思うので、先生方から習ったことを忘れずにこれからもがんばりたいです。

